

令和元年度 地域における福祉教育推進研修会

地域でつながる、「福祉」と「教育」

地域で複雑多様化する課題に対応していくには、地域住民全員が、お互いの様々な価値観や生き方を認め、支え合う地域づくりを推進していく必要があります。

特に、子どもを取巻く課題は、**貧困、いじめ、虐待、発達障がい**等による社会からの排除、発達の疎外、学習の遅れ等、学校や家庭だけでは解決できないものも多く、周りの子ども達を含め、住民一人ひとりが互いを認め合い、支え合うことのできる地域をどのように作り上げていくか、共に考えることが大切です。

このような中、文部科学省においても、子どもを取巻く課題解決のため、コミュニティスクール[※]の推進を図っています。

本研修会では、学校と地域の協働による福祉教育の意義を学び、学校や地域で取組まれている実践を取り上げながら、私たち一人ひとりが支え合う社会を目指して、どのような視点に基づいて実践することが必要であるか、共に考え、共に学び合うことを目的として開催します。



小林
会場

日時：令和元年8月7日（水） 午後1時から午後4時30分まで
会場：TENAMU交流スペース まちライブラリー（小林市細野1897）

新富
会場

日時：令和元年8月8日（木） 午後1時から午後4時30分まで
会場：総合交流センター「きらり」大集会室（新富町大字上富田6345-5）

講師：野尻 紀恵（のじり きえ）氏
（日本福祉大学 社会福祉学部 教授）

神戸大学教育学部卒業後、高等学校教員となり地域と学校が協働する福祉教育を実践。

2005年、福祉の道に進むため高校教員を退職し、大学院へ。大阪府茨木市、愛知県半田市、豊田市等、数多くの教育委員会においてSSWスーパーバイザーを務める。



講義：「地域共生社会実現」と福祉教育（仮）

現代社会における様々な課題、特に貧困、いじめ、発達障がい等による学習の遅れ等、子どもを取巻く課題が深刻さを増す中、福祉教育で大切にしている視点（違いを認め合うこと、共に学び合うこと等）について、再確認するとともに、「つながりの再構築」を目指して、学校、地域、関係機関がどのようにして協働して取組んでいくべきかを考えます。

<事例発表>

「地域でつながる、
『福祉』と『教育』」

【小林会場】

「学校と地域との連携による
福祉の学び合い」（仮）
都城市立五十市中学校・都城市社会福祉協議会

【新富会場】

「かてーりの里・椎葉村
＝つながる・つたえる・つむいでく＝」（仮）
椎葉村立椎葉小学校・椎葉村社会福祉協議会

参加費
無料

定員
各60名

※コミュニティ
スクール

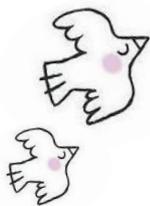
地域の方が参画する「学校運営協議会」等の組織を設置している学校のこと。
地域の方をゲストティーチャーとして招くなど「地域とともにある学校づくり」をめざします。

【主催】社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

【後援】宮崎県教育委員会
宮崎県市町村教育委員会連合会

令和元年度 地域における福祉教育推進研修会

参加申込書



FAX : 0985-31-6575

申込締切日：令和元年7月25日(木)

所属名			
住所			
電話番号		FAX	
e-mail			

職名	氏名	希望会場	備考
		小林会場・新富会場	

- ◆ 会場は、2会場とも参加希望されても構いませんが、参加者多数の場合は、調整させていただきますので、予め御了承ください。
- ◆ 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的のみに利用させていただきます。
- ◆ 個人で申し込まれる場合は、所属名欄に「個人」と御記入ください。

